

歯周病を治療すると 糖尿病もよくなる!

歯周病は、網膜症・腎症・神経障害・心筋梗塞・脳梗塞に次いで糖尿病の第6番目の合併症といわれ、糖尿病が歯周病を引き起こすことはよく知られていました。更に最近では歯周病を改善すると、糖尿病の状態もよくなるという画期的なデータも発表されています。

歯周病が糖尿病を引き起こしたり、悪化させることも!?

糖尿病の人は、免疫力が低下して歯ぐきの炎症が起こりやすくなるため、糖尿病が歯周病をもたらし悪化させるといわれています。さらに、歯周病がひどくなると炎症によって出てくる物質TNF- α (炎症性サイトカイン・生理活性物質: 下記参照) がインスリンの血糖値をコントロールする働きを妨げて、糖尿病の状態を悪くするといわれています。

歯周病が糖尿病を引き起こすメカニズム

●歯周病による慢性的な炎症が糖尿病を悪化させるという考え方が発表されている (Brt.Med.J)

